



2018 10
平成30年

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。
お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性課へ

発行 ● 狛江市地域活性課
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5
☎ 3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3
ル・ミリオン・イダ3階A号
☎ 3430-6617 FAX3430-6743

恵まれた環境で活発な活動



南部地域センター

4年前に大規模改修

南部地域センター(猪方4-11-1)は、多摩川に面した住宅街にあり、豊かな自然と静かで落ち着いた環境に恵まれ、周辺の住民だけでなく、多摩川を散策する人たちのオアシスとしても親しまれている。

昭和58年にオープンしたが、施設の老朽化に伴い大規模な改修工事が行われ、平成26年にリニューアルオープンした。

建物は鉄筋コンクリート造り地上2階建て、延べ床面積883平方メートルで、耐震性に配慮したほか、部屋は自然の外光や景観を楽しめるよう大きな窓が配されている。また、広い中庭があるのも特色。

1階には事務室と図書室、ホールのほか、畳敷きのコミュニティルームがあり、散歩途中に足を休める人の姿も見られる。2階にはレーザーカラオケやスクリーンを備えた講座室(面積48平方メートル)、会議室(30平方メートル)、舞台付きの和室いちよう、和室つつじ、料理実習室などがある。

開館時間は午前9時から午後9時30

独自のイベントも企画

周辺の町会・自治会、狛江第六小学校の児童や狛江第二中学校の生徒、PTA、高齢者や地域活動、趣味やスポーツなど140余りの団体が利用している。

高齢者の給食サービス、猪方・駒井地域福祉推進委員会のおしゃべりサロンなどの会場としても使われている。

年間の利用者は55,437人(平成29年度)にのびた。

地域の市民38人で構成する運営協議会が主催事業の計画立案や運営、広報などを行っている。

新たな取り組みとしてことし3月に地域の音楽愛好家の演奏とコーヒーや軽食を楽しむ「南部さくらカフェ」を初めて開催、人気を集めた。また、地域センターまつりのプレイベントとして11月3日(土)に「南部音楽のつどい」も催される。

今年度の10月以降の事業は寄せ植え教室(10月26日(金))、南部地域センターまつり(11月3日(土)・4日(日))、そば打ち教室(11月17日(土))、大掃除(12月1日(土))、親子料理教室(12月8日(土))、クリスマス会(12月12日(日))、フ

学びの広場

ラワーアレンジメント(12月27日(日))、親子たこ作り(31年1月20日(日))、男の料理教室(2月2日(土))などを催す。
問い合わせ ☎ 3489-2150 南部地域センター。



多目的ホール

面積115平方メートル。スクリーン2面、スポーツミラーを備える。同センターで最も広い部屋で、講演会や発表会、地域の会合などさまざまなイベントに幅広く使われる。



和室いちよう・つつじ

いちよう(面積33平方メートル)は畳18枚が敷かれた和室で舞台がついている。隣のつつじ(39平方メートル)と仕切りを取り払って一体にできる。邦楽や舞踊、親子サークルなどに使われる。



料理実習室

面積40平方メートル。調理台・オープン付きガスレンジ・シンク各3台、冷蔵庫、食器などを備え、男の料理教室や親子料理教室、高齢者の給食サービスの調理などに利用される。

◇ 狛江探鳥会

狛江探鳥会(由井敏雄代表)は多摩川を中心にバードウォッチングや写真の撮影などを楽しんでいる。

アマチュア野鳥写真家の松尾武重さん(故人)が多摩川に来る人から鳥の名前を知りたいなどの要望にこたえるため、平成2年に設立した。

鳥の生態観察を通して自然への理解を深めてもらう活動を行っている。4年に狛江市が発行した『野鳥と多摩川』の編集協力や写真提供を行った。

活動の中心は野鳥の観察会で、7・8月を除く毎月第3回午前中に多摩水道橋下流の多摩川を1時間30分ほど歩いて、水辺や河川敷に



狛江探鳥会

いる鳥を望遠鏡や双眼鏡で観察したり、カメラで撮影する。その後、南部地域センターでその日見た鳥の名前と数を記録するほか、会員が撮影した写真を見ながら鳥にまつわる情報交換や生態について話し合う。また、6月には植物観察会も合わせて催す。

会員は市内を中心に約50人で、観察会には20~30人が参加する。会員の年齢層は50~80代で60代が中心。

現在、狛江市付近の多摩川では年間約70種・3,000羽の鳥が訪れ、観察会では1回に20~30種を見ることができるといふ。会員たちは「これから冬の渡り鳥たちでにぎわう季節を迎えますが、小さな体でものすごい長距離を旅してきたと思うと感動します」「多摩川は多くの鳥に出合える貴重なスポット。鳥たちの暮らしを脅かさないよう、川の自然を大切に守っていきたい」と話している。

会費は年1,000円または月200円。
問い合わせ ☎ 080-2094-8822 由井さん。

◇ いずみ会

歌声広場「いずみ会」(岩間正隆代表)は童謡や唱歌などを大きな声で歌い、健康の維持や交流をはかるグループ。

老人福祉施設のデイサービスに参加していた人が、施設外でも歌える場所がほしいと施設でボランティアをしていた市内在住の佐藤英子さんに相談、知り合いの高齢者に呼びかけ15人で平成18年に南部地域センターで発足した。

シニアの健康と居場所を目的に毎月1回、平日午前中に童謡、唱歌、昭和歌謡、フォークソングなど20曲以上を歌う活動を続けていたが、会場を増やしてほしいという要望が参加者から寄せられ、20年から谷戸橋地区センターでも開くようになり、両会場に参加する人もいます。

現在、南部地域センターでは60代から80代まで30~40人が参加する。参加者たちは、季節やホットな話題に合わせて選んだ歌や参加者のリクエスト曲など20数曲を佐藤さんのリードで歌う。

参加者たちは「家では大きな声で歌えないのでストレスが発散できる」「若い頃に流行していた昭和歌謡は思い出がよみがえるので楽しい」「長く続けていると高い音が出せるので周りの人に驚かれます」などと笑顔で話している。

活動日は第3回(土)午前10時30分~12時(谷戸橋地区センターは第2回(土)午前10時15分~11時45分)。参加費は1回500円(茶菓子付き)。

問い合わせ ☎ 3480-8218 岩間さん。



いずみ会



コアラコアラ

◇ コアラコアラ

親子体操教室「コアラコアラ」(木村恵理子代表)は、幼稚園児とその親が親子体操を楽しんでいる。

同会は同センターで活動する未就園児の親子体操の育児サークル「カンガルークラブ」が母体で、幼稚園などに入園後も親子体操を続けたいという要望を受けて未就学児の親子を対象に16年に発足した。

現在は市内などの幼稚園に通う年少児2組、年中児10組、年長児3組の合計15組が参加している。安全に楽しく活動することを心がけており、世田谷区親子体操指導者協議会に所属する阿部珠美さんがプログラムを組んで、指導にあたっている。活動は約1時間で、ウォーミングアップの後、親と子が一体になって動くスキンシップを重視した運動を多く取り入れている。また、子どもの体力や運動能力の向上を目的とした運動も組み込むほか、ゲームを入れて競争するなど、子どもが飽きないように工夫している。見学は自由で体験を常時受け付けている。

阿部さんは「幼児期に多様な動きが経験できるようにいろいろな運動遊びを取り入れています」と話している。参加している母親は「わたしも汗をかきながら楽しんでます。子どもも異年齢の子と縦に関わることで成長しています。母親同士も情報交換ができて喜んでます」と話している。

活動は月3回(土)午後3時30分~4時30分。月会費1,000円。

問い合わせ ☎ koala_komae@yahoo.co.jp 木村さん。